

## 令和元年度 第2回生涯学習部研修会 活動報告

新入会員および新人教育プログラム未終了者を対象に研修会を開催致しましたので以下に報告します。

日 時： 令和元年8月25日(日) 9:30～ (受付 9:00～)

会 場： 山形県立保健医療大学 TEL：023-686-6611

参加者： 63名 (新人プログラム未終了者を含む)

内 容： 選択テーマ(5 単位)

<8月25日(日)>

9:40～10:40 「E-1 臨床実習指導者論」 (選択)

山形医療技術専門学校 杉原 敏道 先生

10:50～11:50 「B-2 クリニカルリーズニング」 (選択)

山形医療技術専門学校 福田 守 先生

12:50～13:50 「C-4 高齢者の理学療法」 (選択)

介護老人保健施設 美の里 井上 由香 先生

14:00～15:00 「C-1 神経系疾患の理学療法」 (選択)

鶴岡市立荘内病院 池田 浩徳 先生

15:10～16:10 「D-3 理学療法の研究方法論(EBPT含む)」 (選択)

山形医療技術専門学校 長沼 誠 先生

スタッフ：

早坂 恵美子 (吉岡病院)

中川 悠介 (天童市民病院)

辺見 千佳 (山形大学医学部附属病院)

芝田 修平 (庄内余目病院)

佐藤 夏美 (湯田川温泉リハビリテーション病院)

横山 愛里 (吉岡病院)

富樫 綾香 (山形ロイヤル病院)

# 講義風景



福田守先生



井上由香先生



長沼誠先生



池田浩徳先生

受講生のみなさん



## 新入会員より

今年度から理学療法士として、勤務させていただいており、2回目の生涯学習部研修会に参加させていただきました。今回の研修会では「臨床実習指導論」「クリニカルリーズニング」「高齢者の理学療法」「神経系疾患の理学療法」「理学療法の研究方論」を受講しました。セラピストとしてより効果が出る理学療法や根拠に基づいた治療を提供していくために知識や技術を高め、生涯学習を続けることが重要であることを再認識しました。

また、臨床実習指導論についての講義では今後自分が学生を教える立場になった時に学生と指導者のコミュニケーションが大切であり、話しやすい空気感・聞きやすい環境など距離感を見つめ直すいい機会となりました。現在は、勉強の毎日ではありますが理学療法士として臨床力や接遇を磨き、教える立場になれるように知識を深めていきたいと思えます。

庄内余目病院 芳賀 亮太

今回、第二回生涯学習部研修会ではそれぞれのテーマで先生方が講義してくださいました。「高齢者の理学療法」「神経系疾患の理学療法」では学生時代の復習から重要な評価など、症例を通して詳しく教えていただきました。今後、さらに重要視されてくる分野だと思ひ、ますます学ぶ必要があると感じました「理学療法の研究方法論」では研究に於ける基本的なことから、今後研究していくにあたる心構えなど教えていただき、研究への興味関心が高まりました。

理学療法士として働き始めて数ヶ月が経ちましたが、学生時代に言われてきた理学療法士になってからも勉強し続ける必要があるという言葉をも身にしみて感じています。これからさらに学びを深めて、一日でも早く病院ならびに山形県の医療に貢献できる理学療法士になれるよう努力していきたいと思っています。

山形ロイヤル病院 菅井花菜